

1 学習する組織・社会変革関連のシリーズのオープンセミナー受講
 下記の中から、システム思考トレーニングを含む3コース受講します。
 A～Eより3コース受講推奨、2コース以上要参加 ※Aは必須受講

A. 学習する組織シリーズ「システム思考トレーニング」2日間集中コース（基礎/実践）
 複雑性・全体性を理解する「システム思考」についてより実践的に学びます。
 ＊他開催予定：12月2日～3日（田町駅周辺）、2020年2月13日～14日（JR御茶ノ水駅周辺）

B. 組織開発セミナー「学習する組織5つのデザインプリン」
 学習する組織の入門的な内容で5つのデザインプリンを概観します。
 ＊他開催予定：10月24日～25日（JR田駅周辺）

C. 学習する組織シリーズ「行動探求～個と組織の発達を導くリーダーシップ」
 「メンタル・モデル」と「自己マスタリー」についてより深く学び、自己と組織の発達への取り組み方を学びます。
 ＊他開催予定：2020年2月27日・28日（JR田駅周辺）

D. 社会変革シリーズ「ソーシャルインパクトを測る」
 ＊下期1回のみ開催

E. 社会変革シリーズ「変化の理論～なぜ、どのように変化が起こるのか」
 ＊下期1回のみ開催

※ Aのシステム思考を必須として、その他から2コースを選択して受講できます。記載の他開催予定日程でご受講も承ります。受講の順序は問いません。
 ※ 過去予備セミナー・エージェント社の該当セミナーを受講している方は、再受講の必要はありません。
 ※ 再受講しない場合、割引価格での受講が可能です。

2 社会課題解決実践ゼミ
 ゼミに参加し、課題毎のグループを構成して、システム思考のプロセスを現実の社会課題解決に適用します。 原則全回参加

- 第1回 導入/課題を設定する
- 第2回 参照パターンを築き、構造の仮説を立てる
- 第3回 課題を構造化したルール図を描く
- 第4回 レバレッジポイントを探る
- 第5回 新しい選択と変化の理論、プロトタイプを築く
- 第6回 発表、討論と振り返り

※ セッションでは、教科書としてディヴィッド・ストロー著「社会変革のためのシステム思考実践ガイド」を活用します。
 ※ 情報集の一環として、現場観察、インタビュー、勉強会など任意参加のセッションを追加する場合があります。

お申込み

詳細、お申込みはWEBサイトよりお願いします

<https://www.change-agent.jp/events/2019/001249.html>



お問い合わせ

有限会社 チェンジ・エージェント
 (担当：北見)

E-Mail: seminar@change-agent.jp
 Tel: 03-5846-9660

Change Agent Academy



2019 下半期
 新プログラム開講・募集中

社会課題解決のためのシステム思考

6ヵ月 集中プログラム

2019年 2020年
 10.23 → 3.18

会場 四ツ谷、市ヶ谷、田町 ほか 都内(23区内) 駅徒歩10分以内各会場
 講師 小田 理一郎 ほか
 主催 有限会社チェンジ・エージェント

社会課題解決実践ゼミと並行して、「学習する組織」「社会変革シリーズ」の基礎となる理論を習得し、共に実践する仲間を得る

社会課題の解決ではリーダーシップに関心が向かうことが少なくありません。リーダーシップの重要性があると共に、海外で実績ある取り組みにおいて、多様な利害関係者による協働を引き出し、持続させるためのさまざまなプロセス設計や方法論が開発され、実践応用されています。こうした方法論を学びながら、従来の自己主導型リーダーシップを超えた、自己変容と相互変容を導くリーダーシップを培うことが求められています。その鍵を握るのが、システム思考であると言えます。

システム思考においては、さまざまな個人、組織、社会の営みを単なる要素の集合体として見るのではなく、どのようなつながりがパターンを創り出しているのかを見定め、システムの根底にある人々のニーズ、欲求、目標、前提などのさまざまなつながりがバラバラを理解します。なぜ人や集団はそのように振る舞うのかを構造的及び認知的行動的に理解して、どのような仕組みや介入が、そうしたつながりのシステムそのものを改善するのかを希求します。

本研修は、方法論を理解するために平日2日間のセミナーを複数選択する第一部と、平日夜6回にわたってシステム思考のプロセスを現実の社会課題に適用する第二部の二部構成となっています。「学習する組織」シリーズ及び「社会変革」シリーズ定番セミナーで基礎となる理論を習得し、ゼミでは実践的、且つ継続的にチームで学びます。現実の社会課題を特定し、利害関係者から聞き取り、構造的に理解を進め、どのように望ましい変化を創り出すかについて、「システム思考」の方法論を軸にゼミを進めていきます。



プログラムの特徴と利点

- 6ヶ月間にわたって継続する集中プログラムです
- 学習する組織・社会変革関連のセミナー3コースを並行受講できます
- 実践ゼミを中核としたプログラム内容です
- 企業、NGO、行政、アカデミアなどさまざまなセクターからの受講者
- 現実の社会課題解決のために設計されたプロセスを基礎に進めます
- 志あるメンバーと密度の高い学習に取り組みます
- 理論と方法論を体系的に習得できます
- 現実の社会課題に適用するので実践的に学べます
- 組織内の研修には見られない多様なメンバーによる協働作業で、視点・視野を広げられます
- 実際に自組織や自地域での実践を念頭に、実践的に学べる

課題設定例

社会課題は、参加者の経験や希望を踏まえて設定します。チェンジ・エージェント社及び講師が過去関わってきた国内外の社会課題には次のようなものがあります。課題案：食料・水・エネルギーの課題/環境問題（気候変動、生物多様性、資源、化学物質など）/農業・漁業・林業の課題/米・健康、医療の課題/サブライチエーションにおける人権課題（労働者、ジェンダー、児童、人種など）/教育課題（初等、中等、高等から成人まで）/職場環境、働き方、能力開発、キャリアに関する課題/都市と農村、途上国開発、地域活性化、人口移動、移民、難民などの課題



※セミナーA～Eから3コース選択できます。

このような方にお勧めです

本アカデミーは、学習する組織、システム思考の実践を学びたい方はもちろんのこと、社会課題に関心のある社会人全般にご参加いただけます。

修了証の発行

社会課題解決実践ゼミを4回以上、学習する組織・社会変革関連のセミナーを2つ以上の受講を修了された方には、チェンジ・エージェント社より「社会課題へのアプローチを習得するためのシステム思考集中プログラム」修了証をお渡しします。

価格

230,000 円 (税別)

セミナー 3コース + 実践ゼミ6回セット価格

学習する組織・社会変革関連の5コース (セミナーA～E)の中で受講済みのコースがある場合は、その範囲内でセミナー受講料を減らし割引価格で受講することが

2コース + 実践ゼミ申込 (1コース受講済) **→ 40,000円 (税別)**

1コース + 実践ゼミ申込 (2コース受講済) **→ 85,000円 (税別)**

実践ゼミのみ申込 (3コース受講済) **→ 140,000円 (税別)**

※1 「NPO職員の方」(フルタイム職員の方にかぎり)は参加費の30%割引制度がございます。

※2 100km以内の方は遠方参加者割引制度がございます

※3 セミナー開催地までの交通費は、各自でご負担ください。

※4 オープンセミナーについては、単独申込者と合同でご受講いただけます。

※5 ※1と※2の併用は不可

※6 すべて2019年10月1日以降実施のセミナーですので、消費税率は10%となります。

講師



小田 理一郎 (有会社社チェンジ・エージェント代表取締役)

オレゴン大学経営学修士 (MBA) 修了。多国籍企業経営を専攻し、米国企業で10年間、製品責任者・経営企画室長として組織横断での業務改革・組織変革に取り組み、2005年チェンジ・エージェント社を設立。人財・組織開発、CSR経営などのコンサルティングに従事し、システム横断で社会課題を解決するプロセスデザインやファシリテーションを展開する。デニス・メドウス、ピーター・センゲン、アダム・カヘンら第一人者たちの薫陶を受け、組織学習協会 (Sol) ジャパン理事長、グローバルSol理事などを務め、システム思考、ダイアログ、「学習する組織」の普及推進を図っている。著書にシステム思考の入門書『なぜあの人の解決策はいつもうまくいくのか』(東洋経済新報社)、『学習する組織入門』(英治出版)など、共訳書にビクター・M・センゲン著『学習する組織——システム思考で未来を創造する』(英治出版)、ジョン・D・スターマン著『システム思考——複雑な問題の解決技法』(東洋経済新報社)、『行動探求——個人・チーム・組織の変容をもたらすリーダーシップ』(英治出版)、監訳書にアダム・カヘン著『社会変革のシナリオ・プランニング——対立を乗り越え、ともに課題を解決する』(英治出版)など。

ファシリテーター



水先案内人

北見 幸子 (有会社社チェンジ・エージェント 講師/マネージャー)

大学卒業後、人材開発コンサルティング会社に18年間勤務。法人営業・コンサルティング、インストラクター、プロジェクトマネジメント業務など多岐に渡って顧客の人材開発支援を行う。大手損害会社、銀行を中心に、メーカーなども担当。テーマは、営業力強化、リーダーシップ・マネジメント、評価者訓練、女性活躍、理念浸透など。特に認知心理学や行動科学をベースとした対人対応スキル向上の側面からアプローチを用いて企画を実施。その後、出版社の教育出版物の営業責任者として医薬品業界全体へのアプローチを行う。後に、事業会社での人材開発責任者として自組織の人材育成に携わり、一人ひとりの成長と組織としての成長が不可欠であることを痛感。「学習する組織」の考え方に感銘を受ける。コンサルティングファームで講師を経て、2018年よりチェンジ・エージェントに参画。